



狭山台中だより

令和元年 7月19日 第5号

狭山台中学校校訓 <信頼・努力・協同>

学校教育目標

- 学び合う生徒
- 考えて行動できる生徒
- 高め合う生徒

発行者 狭山台中学校長

令和元年最初の1学期無事終了！ ・ 夏休みに向けて

令和元年最初の1学期が終了しました。保護者並びに地域の皆様方には、狭山台中学校の教育活動に対し温かいご支援とご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。明日20日より43日間の長い夏休みを迎えることとなりますが、学校を離れ家庭や地域で生活することが多くなりますので子供たちの見守りをよろしくお願いいたします。また、休業中には家庭訪問(1・2年生)、三者面談(3年生)があります。この機会を利用して学校や家庭での様子や具体的な進路等について相互に理解し、子供の成長の一助となる話し合いにしていだければと思います。3年生は受験に向けた準備開始、1、2年生は新体制になった部活動、2学期9月の体育祭に向けた準備、富士見集会所ふれあい教室、さやまっ子茶レンジスクール等の学習機会など、個人差はありますが、やることは沢山あります。夏休みの過ごし方しだいで2学期を迎えるにあたっての気持ちが全然違ってきます。時間を大切に有意義に過ごせるよう工夫してほしいものです。休み明け2学期が、やる気に満ちた新たな気持ちで始まりますように、ご家庭でも良きアドバイスをいただければ幸いです。

1学期終業式講話より (一部抜粋)

○「時間を有効に使う」 今年の夏休みは43日間。1日24時間×43日＝夏休みを時間で考えると総時間数は1032時間。生活に直結する時間(睡眠時間8×43日＝344時間。食事や入浴等の時間1日2時間×43日＝86時間)を夏休み総時間数から引く(1032時間－344時間－86時間)と約600時間。この数字は1学期の総授業時数(約360時間)より遥かに多い時間数になる。この約600時間(1日平均14時間)が、自宅学習や塾の時間、習い事や趣味の時間に使えます(1、2年生は部活動の時間も含む)。つまり自分で計画を立てて自分で考えて使うことができる時間である。これだけの時間を無駄に、無計画に過ごすわけにはいきません。夏休みの目標をしっかりと掲げて、「いつまでに、どこで、何を、どのように進めていくか、1日最低○時間は勉強する」など、しっかり計画を立てて時間を有効に使う。家の人に言われる前にできれば最高！実行できた人とできなかった人では、2学期以降に差が生じる。無理なく実行できる目標を掲げて是非ともやり遂げよう。



○「家庭や社会のルール・マナーを守る」 夏休みだからといって、就寝や起床時間、食事の時間、外出からの帰宅時間等、普段と違って不規則な生活リズムにならないようにすること。また携帯やスマホを持っている人は、利用方法や利用時間について家庭での厳格なルールの基に、必要以上に使用しないこと。ルールを守れずに勉強や睡眠を妨げたり、人の迷惑になるような携帯やスマホは必要ない。外出する機会も増えることから自転車での移動に伴う交通事故や水辺の遊び(危険な場所等)に十分に気をつけ事故に絶対に遭わないように一人一人がルールやマナーを守って安全な生活を心がけること。特に、自転車乗車の際にヘルメットを着用することは、「自分の命は自分で守る」という観点からも大事。格好を気にせず、安全・安心を最優先しよう。



○「尊い人の命について考える」 県内で身近に起こった「命」について考えさせられる悲しく痛ましい出来事について。一つは昨年のことながら中学1年生が自殺していたという事実が、最近になって取り沙汰されていること。もう一つは中学2年生同士の刃物による「死亡事件」(中略)。どんな事情や理由があっても自分で自ら命を絶つことが決してあってはならない。「命」は、自分だけのものではない。さらに言えば、亡くなった人と関わる全ての人が悲しみ、その人たちの人生までも大きく変えてしまう。ましてや人の命を奪う行為など決して許されることではない。一度亡くした命は、二度と戻ってこない。ゲームのようにリセットすれば復活するものではない。「命」を大切にすることとは、「単に自殺は絶対にしてはいけない」、「人の心も体も傷つけてはいけない」ということだけで済む問題ではない。どうしたら、みんなが幸せでいられるのかということ、どうしたら悲しい出来事が二度と起こらないようにできるのか、そのことを考えることが大事。君たちは、どう考えますか(中略)。自分がされたら、言われたら嫌だな、辛いなど思うことは決して人にしない。もしも身の回りで心ない言動を目にしたり耳にした時は、大人の誰かに相談したり、時には直接やめさせるような勇気をもつことが人として大切。そうすることで、このような悲しい出来事はなくなるのではないかと。皆さんも今こうして生きていることの当たり前を噛みしめてほしい。自分を、そして他の人を大切に思っていていける人であってほしい(後略)。

いのち
あのね
自分にとって
一番大切なものは
自分のいのちなんだよ
だから
すべての他人の
いのちが
みんな大切なんだよ
みつと

日本の詩人・書家 相田みつと氏 詩集より

行ってきました！3年生修学旅行（7/9～2泊3日）スローガン『トモイチ ～五感で感じる古都の風～』

初日7:47東京駅発
東海道新幹線
のぞみ301号
いざ京都へ！



11:30奈良
東大寺大仏殿
奈良公園
鹿とたわむれる生徒



17:30初日の宿へ
無事に到着
今日は皆で夕食



2日目 班別行動
多くの班が
伏見稻荷や
金閣寺へ
記念写真や甘味処



2日目の宿!
今日は部屋で夕食
すき焼き〜!
友禅染体験で
パンケースやバック制作



3日目
嵐山・嵯峨野へ
野宮神社から竹林
散策、お土産タイム



14:02京都発
新幹線のぞみ
362号で
一路狭山へ
名残惜しいな〜



修学旅行スローガン『トモイチ ～五感で感じる古都の風～』のトモイチの意味には大切な友達(トモダチ)といつも一緒(イッショ)に過ごすことで、「やっぱり友達っていいな〜」と感じられる修学旅行にしたいという学年の「想い・願い」が込められていました。京都・奈良の歴史や文化、昔の人々の暮らしや生活、その地に住む方々と直接触れ合い、改めて日本の素晴らしさを仲間と共に体感しました。さすが台中生というエピソードとして、現地の路線バスの運転手さんに、「生徒の乗り方のマナーがいいですね」とほめられたり、バスの中で妊婦さんに席をお譲りしたとのことで、わざわざ京都から狭山台中学校まで、「助かりました〜」とお礼の電話をいただく等、思わず嬉しくなる生徒の善行も複数ありました。集団生活に必要なルールやマナー、公衆道德の大切さを学びながら実行委員を中心とするリーダーたちの責任ある行動により、互いに協力し合う生徒の姿を数多く見ることができてよかったです。今後も3年生の学年集団がさらに大きく成長してくれることを期待します。

狭山地区硬筆展覧会6/15(土)開催

狭山市図工・美術作品展(2年生)7/6(土)

賞	1年生	賞	2年生	賞	3年生
金賞	さん	特選	さん	銀賞	さん
金賞	さん	金賞	さん	金賞	さん
特選	さん	銀賞	さん	金賞	さん
特選	さん	銀賞	さん	特選	さん
金賞	さん	金賞	さん	金賞	さん
金賞	さん	銀賞	さん	特選	さん
金賞	さん	銀賞	さん	銀賞	さん
銀賞	さん	特選	さん	金賞	さん
銀賞	さん	金賞	さん	特選	さん
特選	さん	金賞	さん	特選	さん

入選	さん	入選	さん	入選	さん
入選	さん	入選	さん	入選	さん
入選	さん	入選	さん	入選	さん
入選	さん	入選	さん	入選	さん
入選	さん	入選	さん	入選	さん
入選	さん	入選	さん	入選	さん
推薦賞	2年	さん	入選	さん	入選
金賞	1年	さん	入選	さん	入選
金賞	1年	さん	入選	さん	入選
銀賞	2年	さん	入選	さん	入選
銀賞	1年	さん	入選	さん	入選

環境整備・緑化作業

7/13 第2土曜学校公開日に合わせて生徒による環境整備を台中応援団の皆さんと保護者の皆さんに手伝っていただきました。除草、花壇の手入れ、樹木の剪定、側溝の泥取り等をお願いして、とてもスッキリしました。生徒たちも暑い中よく頑張りました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。**側溝の泥取り**→



スケアード・ストレイト教育技法自転車交通安全教育

7/17、専門のスタントマン(スタント会社)が交通事故をリアルに再現し、その怖さを体験させてくれました。狭山警察交通課の方にも交通ルールやマナー、自転車の安全利用についてご指導いただきました。



事故後の悲惨な自転車